

平成29年 2月 3日

ご入居者及びご家族等の皆様へ

サンリッチ伊東
施設長 澤地 里美

入居者運営懇談会のご報告について

1月28日に開催いたしました入居者懇談会について、次のとおりご報告させていただきます。

- 1.日 時 平成29年1月28日(土) 13時30分から14時27分
- 2.場 所 1階レストランにて
- 3.参加者 入居者20名+ご家族12名=計32名 職員11名
- 4.挨拶

福家社長 ⇒ 本日は、運営懇談会にお集まりをいただきありがとうございます。

さて、私たち人間の平均寿命は、科学の進歩や経済発展の恩恵を受けて、毎年延びてきましたが、昨今、延びた命が軽視される悲しい事件が多発しており憤りを感じます。このような社会になった1つが、尊く清らかで感謝の気持ちが薄れてきたためではないかと考えております。

また、昨今の社会の変化は、家族制度の変化や少子高齢化に伴う人口減少が進んでおり、将来への不安、特に年金財政が大丈夫か、働く人材は確保できるか、東京オリンピック後の経済はどうか、悩みごとはつきません。

そんな中、私たちは、毎日を正しく幸せに、感謝をもって明るく暖かく生きてゆきたいものです。この1年間頑張って運営していきますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単に挨拶をさせていただきました。

司会者(生活サービス課の黒柳課長) ⇒ それでは、議題に入らせていただきます。なお、質疑については全ての議題説明後に時間を設けさせていただきますので、予めご了承ください、と述べました。

5.議題

① 一時金の返還債務の保全措置について

澤地施設長は、この議題について次のとおり説明した。当施設は公益社団法人全国有料老人ホーム協会の入居者生活保証制度に加入していますので、入居一時金返還債務の保全については、この制度を利用いたします。この制度は、ホーム設置者の倒産等のために全入居者の皆様がホームから退去せざるを得なくなり、入居者の方が入居契約を解約した場合、入居者1人当たり500万円の保証金が入居者生活保証制度から支払われることになっていることを説明しました。

② 介護職員配置体制・勤務形態などについて

西城介護サービス課長は、本議題についてP2~P5の「従業者に関する事項」により、職員の勤務形態、資格保有状況、夜勤体制などについて説明しました。

③ 運営報告について

澤地施設長は、この議題について P6～P8 の「運営等報告書」により、1年間の運営等の報告を説明しました。

④ 決算報告について

浅野総務課長は、本議題について P9～P11 の「全体の決算報告書」及び「部門別収支報告書」により詳細に説明しました。

⑤ その他

・中西看護サービス課長 ⇒ この時期は、「手洗い」と「うがい」をしっかりと行っていたことをお願いしました。

・高齢者の自動車運転について

黒柳生活サービス課長 ⇒ 昨今、高齢者の自動車運転事故が多発していることは、ニュース等によりご存じのことと思います。これは、年齢に伴う機能低下に起因するものだと思います。このようなリスクを回避するためには、なるべく運転を控えていただくことをお願いしました。

・要望等について

石川食事サービス課長 ⇒ どんなことでも構いません。何か要望等があれば、ご意見をお願いしたいことを述べました。

「質疑応答」

① 一時金の返還債務の保全措置について

意見はありませんでした。

② 介護職員配置体制・勤務形態などについて

意見はありませんでした。

③ 運営報告について

入居者 A

⇒ 11名死亡退去になっているが、その死亡原因は何ですか。

施設側回答

⇒ がんなどの病気であったり、長く入居されていた方であったり、また機能低下によるものだと思います。

④ 決算報告について

入居者 A

⇒ 入居者より入金されない費用はありますか。

施設側回答

⇒ 現在のところはありません。

入居者A

⇒ 部門別収支報告書の収支差(①-②)ではマイナスになっている。損益計算書では当期純利益がプラスになっている。このことについて説明してほしい。

施設側回答

⇒ 損益計算書は全ての収入と費用が含まれています。部門別収支報告書は、この損益計算書の中から管理費・食費・介護費に対応する項目だけを抜き出して作成しています。部門別収支がマイナスであっても入居一時金収入から充当していますので、管理費・食費・介護費に係るそれぞれのサービスの維持ができています。事業全体で利益を確保して不足している部門を支えています。

食費部門や介護費部門がマイナスだからといって入居者皆様にご負担を求めることを現在は考えておりません。大事なことは全体で利益を確保することだと思います。

食費部門で言うならば入居者皆様から食費の値上をしたらどうかのご意見をいただければありがたいことですし収支状況が改善されます。

介護部門については介護職員を減らせば収支のマイナスは改善しますが、サービスの質を下げることになります。当分は全体できちんと利益を確保してサービスの低下を招かないよう運営して参りたいと思います。

何とぞ、ご理解をいただきますようお願いいたします。

入居者B

⇒ 役員長期借入金はどう言う意味ですか。

施設側回答

⇒ 社長からの借入になります。

⑤ その他

入居者A

⇒ 入居率はどの程度ですか。

施設側回答

⇒ 現在93.3%です。ショートステイを加えると稼働率はもっと高くなります。

入居者B

⇒ 伊豆急線との敷地境界の斜面は工事が終了している箇所とそうでない箇所がある。土砂崩れが心配である。

施設側回答

⇒ 建物に影響が出ることは考えにくいと思います。ご指摘の斜面は当施設の敷地ではないので、斜面の工事状況について伊豆急線の会社に確認をさせていただき、後日ご報告させていただきます。

後日確認した内容

⇒ 伊豆急行線の会社に問い合わせをしたところ、ご指摘の斜面は特に問題がなく改修工事は予定されていないとのことでした。

入居者C

⇒ お風呂の温度が一定していないのでは。

施設側回答

⇒ 先週は寒波の影響を受けましたので、より温度差が生じてしまったかも知れません。当施設の温泉はかけ流しで提供させていただいておりますので、強い寒波などの場合には少し影響を受けやすいと思いますが、今後は寒波等に対しても管理をしっかり行っていきたいと思います。

司会者（生活サービス課の黒柳課長）⇒ 他にご意見はございませんか。ないようでしたら入居者運営懇談会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。14時27分に閉会した。

以上、ご入居者様及びご家族皆様等からのご意見並びに弊施設からの回答について、ご報告させていただきます。なお、本報告は当日のご意見や回答などを整理して配布させていただきました。

施設長